

特集 近畿・中四国地区薬業商圏

近畿地区トピックス #5

調剤薬局編

大手調剤薬局・ドラッグストアチェーンによる薬歴未記載や無資格者調剤が相次いで社会問題となり、医薬分業の在り方に見直しを求めるバッシングが再燃している。超高齢社会において地域包括ケアシステム

の推進が緊急の課題となる中、調剤薬局は、自らの存在価値をかけて機能強化しなければならぬ。近畿地区において意欲的な取り組みを見せる2社にフォーカスを絞り、その可能性を検証してみた。

関西メディコ(奈良県生駒郡)

モチベーションを高める「社員の夢サポートプロジェクト」始動

設立25周年の節目を迎え「プロジェクト」を立ち上げる

奈良市内のホテルで開催 府南部4店舗 6月10日

奈良市内のホテルで開催 府南部4店舗 6月10日 現在の「サン薬局」社員の興味・長所を生かす エーンを展開する同社

県内100店舗のネットワーク 目指す安井将美社長



受け皿となる調剤薬局を 奈良初のクリーンベンチを備えた本格的な無菌調

追いかける夢に制限なし 社員とともに会社も成長

同プロジェクトをめぐり、会社がサポートして

剤室の設置(01年)など 先駆的に活動してきた。

さらにも県内で発行さ

れる処方箋(677万8

層を対象にした介護付

ムの運用、経営計画を

てない鷹揚(おうよう)

性を持つ同社だが、業

を引出す面でも独自性

ならず、会社にデメリット

成長することが目標」と

の退場を迫られている

と強調。この流れにつ

有給休暇取得率・育児休暇 復帰率いずれも100%

施設でなく、在宅をメ

ンに国内でもトピック

送、送料無料で応じる

サービス(処方箋薬も可

など「本筋」の業務の一

てサポート企業として

0%、月平均残業時間7

「待ち望んでいた時代

がやってくる」とドミ

ワーク網の強みをアピ

ライバルへの取り

組みが認められ、県知

表彰も受けている。

高齢者・子どもを交

事故から守る協定を県

が各地で本格的に進め

化を急いでいる。



親睦会には複数の薬学部・薬科大のゼミ生も参加